

名古屋大学博物館野外観察園展示室の展示記録 2013 年 10 月から 2014 年 10 月まで

Record of the exhibition at the Nagoya University Museum Botanical
Garden from October, 2013 to October, 2014

吉野 奈津子 (YOSHINO Natsuko)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学全学技術センター
The Nagoya University Technical Center, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601, Japan

名古屋大学博物館野外観察園展示室で 2013 年 10 月から 2014 年 10 月までに名古屋大学博物館のサテライト展示を 6 つ行った。本報告はその記録である。展示の企画、展示者との調整は野崎ますみ(名古屋大学博物館)が行い、会期中の管理は吉野が行った。展示物に関しては展示者が作成を行っている。

(1) ボタニカルアートと写真による観察園の植物 I 秋の植物

主 催：名古屋大学博物館

会 期：2013 年 10 月 22 日 (火)～12 月 19 日 (木)

入園者数：652 人

担 当：野崎 ますみ (名古屋大学博物館)

吉野 奈津子 (名古屋大学博物館)

ごあいさつ

このたびは名古屋大学博物館野外観察園セミナーハウス展示室に足をお運びいただき、ありがとうございます。

名古屋大学博物館友の会では、2007 年にボタニカルアートサークルが発足し、東海林富子の指導のもと、月に 2 回植物好きな仲間が集まり、植物細密画 (ボタニカルアート) に挑戦しています。2012 年度には、ボタニカルアートサークルの方々を中心に、名古屋大学博物館野外観察園にある植物を描いていただき、約 150 点を第 26 回企画展「ボタニカルアートと明治の博物画」で展示することができました。併せてボタニカルアートを使った、図鑑形式の図録である「野外観察園ハンドブック」も発行いたしました。

今回は企画展「ボタニカルアートと明治の博物画」で展示した作品を季節ごとにご紹介いたします。ボタニカルアートでは、大きさはもちろん、花びらの枚数や虫食いの跡など、見たままを忠実に描きます。透明水彩絵の具を使用し、白い絵の具は基本的には使いません。紙の白を残すことで光が当たって白く光っているところを表現します。印刷された図録では小さくて見えにくい、植物全体に生えているような毛も、実際の作品をご覧くださいと描かれているのが分かります。すべてを忠実に記録する写真も素晴らしいですが、人の目で植物を観察し、理解した上で描くボタニカルアートには、植物の特徴が、人間が見て理解しやすく描かれている点が特徴です。生の作品でしか味わえない、色合いや繊細さをどうぞお楽しみください。

展示作品（ボタニカルアート 19 点）

アベマキ（枝・実）、	アラカシ、	イヌタデ、	カリン、
キウイフルーツ、	キキョウ、	キンミズヒキ、	クリ、
コナラ、	ザクロ、	シュウメイギク、	シラカシ、
ノブドウ、	ヒガンバナ、	フジバカマ、	ホトトギス、
ミョウガ、	ヤマノイモ		

今月の野外観察園のパネル 4月～10月 7枚



図1. チラシ.



図2. 展示室の様子.

（2）ボタニカルアートと写真による野外観察園の植物 II 冬と早春の植物

主 催：名古屋大学博物館

会 期：2014年1月6日（月）～2014年3月19日（水）

入園者数：549人

担 当：野崎 ますみ, 吉野 奈津子

展示作品（ボタニカルアート 25 点）

ウツボカズラ、	オオバベニガシワ、	カラスノエンドウ、	ジュズサンゴ、
スギナ、	ストレプトカーパス、	センリョウ、	ツバキ、
ネコヤナギ、	ハッサク、	ハナニラ、	ヒメオドリコソウ、
ヒュウガミズキ、	フキ、	ボケ、	マンリョウ、
ヤブコウジ、	ヤリノホクリハラン、	ユズ、	ロウバイ

（写真7点）

ウメ、	カミヤツデ、	キブシ、	ヒメリュウキンカ、
フクジュソウ、	モモ、	ヤツデ	



図3. 展示室の様子.

(3) ボタニカルアートと写真による野外観察園の植物 III 春の植物

主催：名古屋大学博物館

会期：2014年3月24日(月)～6月4日(水)

入園者数：416人

担当：吉野 奈津子, 野崎 ますみ

展示作品 (ボタニカルアート 17点)

オンシジウム,	カラタチ,	クロタネソウ,	コショウノキ,
コチョウラン,	サクラ,	シデコブシ,	シラン,
セキショウ,	タマネギ,	ナワシロイチゴ,	ナワシログミ,
ネモフィラ,	ノアザミ,	ハルサキシユウメイギク,	
ヘンルーダ,	ホウチャクソウ		

名古屋大学博物館
野外観察園セミナーハウス
サテライト展示

**ボタニカルアートと写真による
観察園の植物**

IV III
夏の植物
春の植物

キバナツノゴマ
シノブ科

III 春の植物
2014 3/24(月)～6/4(水)

IV 夏の植物
2014 6/9(月)～8/27(水)

開館: 10時～16時
休館: 土・日・祝日および8/14～18

会場: 名古屋大学博物館野外観察園
セミナーハウス2F

名古屋大学博物館野外観察園 (地下鉄名城線名古屋大学駅1番出口徒歩8分)
〒464-8601 名古屋市中区不老町 TEL: 052-789-5767 FAX: 052-789-5896

入場無料

図4. チラシ.



図5. 展示室の様子.

(写真 12 点)

イスノキ,	イロハモミジ,	ウメ,	カナメモチ,
カミヤツデ,	キブシ,	コクサギ,	フクジュソウ,
ミツガシワ,	メギ,	モモ,	ヤツデ

(4) ボタニカルアートと写真による野外観察園の植物 IV 夏の植物

主 催：名古屋大学博物館

会 期：2014 年 6 月 9 日（月）～ 8 月 27 日（水）

入園者数：533 人

担 当：吉野 奈津子, 野崎 ますみ

展示作品（ボタニカルアート 38 点）

アガパンサス,	ウマノスズクサ,	エノコログサ,	エビスグサ,
オキナワスズメウリ,	キソケイ,	キバナツノゴマ,	ギボウシ,
コエビソウ,	コバンソウ,	コヤブラン,	サクララン,
シュウカイドウ,	ショウジョウソウ,	セイヨウニンジンボク,	ゼニアオイ,
タイサンボク,	ツユクサ,	テンジクスゲ,	ドクダミ,
ナスタチウム,	ネムノキ,	ハブソウ,	ハンゲショウ,
ヒメツルソバ,	ヒメヒオウギズイセン,	ビワ,	フウセンカズラ,
フレンチマリーゴールド,	フレンチラベンダー,	ホテイアオイ,	マルバアイ,
ミッキーマウスツリー,	ミフクラギ,	ムクゲ,	ムラサキゴテン,
モクゲンジ,	ワタ		

(東海林富子 ポストカード 4 点)

アメリカアサ,	タカサゴユリ,	ナス・ニンジン・ジャガイモ,
ヨウシュヤマゴボウ		

(5) 水辺の宝石 トンボ

主 催：名古屋大学博物館

会 期：2013 年 8 月 6 日（火）～ 10 月 19 日（土）

入園者数：447 人

担 当：西田 佐知子（名古屋大学博物館）

ごあいさつ

この展示は 2009 年 8 月 4 日から 10 月 3 日まで開催された名古屋大学博物館企画展の一部を再展示したものです。

2009 年の展示にあたっては、東海昆虫保存会のみなさまに大変お世話になりました。展示されている標本および写真の多くは、東海昆虫保存会の会員によって採集・撮影されたものです。今回の展示にあたりまして、改めてお礼を申し上げます。



セミナーハウス・サテライト展

水辺の宝石 トンボ

2014

9月1日(月)～10月24日(金)

名古屋大学博物館

野外観察園セミナーハウス2階

開館：月～金 10時～16時

ただし10月18日(土)は開館

入場無料

9月24日～10月10日は、
博物館実習生ミニ展示も同時開催

名古屋大学博物館 野外観察園
地下鉄名城線 名古屋大学駅 1番出口徒歩約8分
〒464-8601 名古屋千種区不老町
Tel. 052-789-5767 <http://www.num.nagoya-u.ac.jp/>



図6. チラシ.

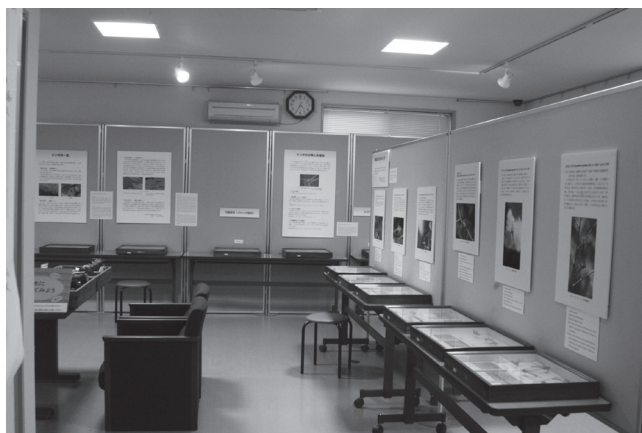


図7. 展示室の様子.

(6) 学生によるミニ展示「生物のかたちとおもしろさ」

主 催：名古屋大学博物館

会 期：2013年9月30日(月)～10月19日(土)

入園者数：「水辺の宝石トンボ」展に含まれる

担 当：西田 佐知子、藤原 慎一(名古屋大学博物館)

ごあいさつ

野外観察園でみられる植物や虫たちを素材として、名古屋大学の学生たちが展示制作に挑戦しました。

宇宙、文学、機械……博物館に集まったかれらの専門はさまざまです。そんな学生たちは一体どのような切り口から課題に取り組んだのか!?

ぜひ皆さんの目でお確かめください。

(2014年10月15日受付, 2014年12月24日受理)

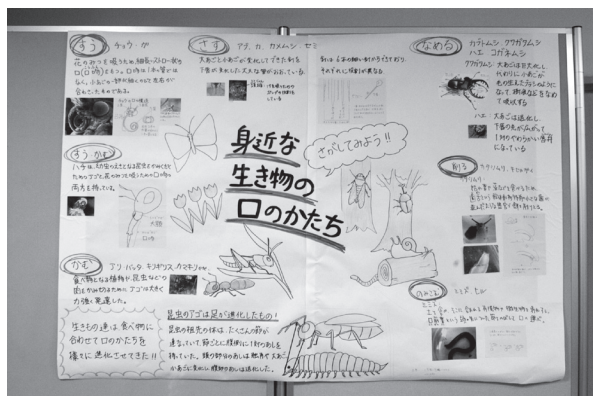


図8. 展示作品.



図9. 展示作品.

